

2018年7月6日(金)

日刊大牟田 3面

教育方法研究で奨励賞

有明高専専攻科の鴻上さん



受賞を喜ぶ鴻上さん

有明高専専攻科一年生の鴻上(函南(となん))さん(二二)は、広島県で開かれた照明学会中国支部(支部長、田中武・広島工業大学教授)主催の学会「第七

回電子デバイス・回路・照明・システム関連教育・研究ワークショップ」で、研究を発表し奨励賞に選ばれた。鴻上さんが発表した研

究は「集積回路レイアウト設計教育の検討」でプロ

グラミングからのアプローチ」。「コンピュータのプログラミングが得意な学生には、電子回路の設計が苦手という学生が多いことから、プログラミングを使った電子回路の設計を学べば両方得意な人材が育つと考え、教育方法を考えました」と鴻上さん。指導者の一人、石川洋平准教授はこの教育方法に

より、電子、プログラミングの分野を超えることができ、学生は勉強しやすくなりました」と評価した。鴻上さんは「受賞の知らせを聞いてビックリしました。これからある演算増幅器設計コンテスト応用科学学会でも研究を発表する予定にしています」と話した。